

かわら版 ”とちぎのまちの駅”

第11号 2004.12.28

発行人 まちの駅ネットワークとちぎ(ま・ね・とち)

吉田 恵子

§ 「心のくつした便」 山古志村へ §

第8号で皆さまに協力をお願いをした、中越地震被災地応援企画「心のくつした便」は、12月24日のクリスマスイブに、山古志村のみなさんへ手渡されました。

全国から集まった「くつした」はなんと**973足!**

当日は、まちの駅「ながおか市民センター」の案内人・高橋さんや、地域交流センターの遠藤さんらがサンタクロースに扮し、長岡市内の山古志村の人が入居する仮設住宅を一軒ずつ訪問。その様子は、25日朝のフジテレビ「めざましどようび」でも放送されました。

「この歳でクリスマスプレゼントをもらえるとは思っていなかった」と話す年配の男性。ちょうどその日がくつした便を渡した女性の誕生日と知るや「ハッピーバースデー」を歌い始めるサンタさん達。

短い放送時間ながら、画面には山古志村のみなさんの笑顔がいっぱい。

24日の夜、福岡市のラジオ番組に出演した「ながおか市民センター」の高橋さんは、全国のみなさんに何度も何度もお礼の言葉を述べていらしたそうです。

8月の「どん・どん・つながるまちの駅」。そして12月の「心のくつした便」。

まちの駅を通した人と人とのつながりは、嬉しい時も辛い時も、前に進む勇気と元気を与えてくれるのだと思います。

さて、2004年。

馬頭町18の駅、宇都宮に初の駅がオープンしたことから、栃木県は福岡県に継ぐ「まちの駅大国」になっています。

「まちの駅親善大使」として大活躍の夢現太鼓の本拠地・大平町では、役場が中心となりまちの駅を「公募」中。葛生町でも「まちの駅」に関連した勉強会が近く開かれる予定です。

ますます元気になっている栃木の「まちの駅」。

来年もまたステキな「まちの駅物語」が生まれたいなと思っています。

では、みなさま、良いお年をお迎えください。

ほかの駅のみなさんにお知らせしたい情報がありましたら、「かわら版」へどん・どん送ってください。お待ちしております。

E-mail : manetochi@mbn.nifty.com

Fax. 028 - 622 - 8501